※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	演奏研究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	MOUSA2　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと（合唱も含む）」「楽器（ギターやキーボードが中心）を演奏すること」演奏能力の向上やその背景を考えるために鑑賞を主に学習します。
・学習の到達点は、授業で配布、回収するワークシート、実技テストで評価します。
・音楽の学習は繰り返し練習することで身につきます。授業中に集中して取り組み、自信をもって表現できるようになることで達成感が得られます。こうした経験が音楽を愛する心、生きていく力になることを願っています。
・実技テストは、授業中に受講生の前で演奏する発表会の形式で行えることを目標とします。
・アートスタジアムなどの演奏発表の機会を設け、音楽を人に伝える喜びを体験することで、音楽をツールとするコミュニケーション力をはぐくむ。

2　学習の到達目標

音楽作品についての演奏研究を通して、演奏における多様性を理解し、音楽の様式を尊重して演奏する能力を養うとともに、基本的な表現能力を研究する。
音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を示し、地道に真剣に取り組んでいる。
a:曲想と音楽の要素や歌詞などの関りを基本で学習し、鑑賞や模範演奏を通して様々な表現方法を知ります。そこから、自分なりの表現方法を考えるとともに、表現できる基本技能を学習します。
b:知識・技能を元に自分なりの演奏ができて、その表現が相手に訴えかけるものになることを目標とする。
c:授業を真面目に取り組み、積極的に演奏しようとする態度を養うとともに仲間との教え合い等を通してともに音楽をする楽しさ、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	・演奏における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを活かした演奏をするために必要な技術を身に着ける ・曲想と音楽の要素や歌詞の関係の基本を踏まえ、鑑賞を通して様々な解釈があることを知る。 ・時代や地域による特徴を鑑賞や演奏を通して身に着ける。	・曲想と音楽の要素や歌詞との関係の学習を通して自分がどのように演奏したいか考え、演奏できている。 ・表現したい音楽のイメージを膨らませながら、思いや意図をもって演奏する。	・音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする。 ・様々な音楽作品を受け入れて、積極的にかかわる。 ・主体的、協働的に理論の学習に取り組むとともに、学んだことを活かそうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	伸びやかな声で歌う	**歌唱** 「浜辺の歌」 「ハナミズキ」「糸」「島人の宝」	a: より自然なのびのある声で歌うことができ、歌曲にふさわしい日本語の発音を鑑賞や模範演奏を通して意識的に取り組んでいる。 b:日本語の特性やその味わい、音楽の諸要素とどう結びついているかをよく理解して表現できている。 c: より自然でのびのある発声法に関心もちち、日本の歌曲に興味をもって取り組んでいる。	・実技テスト ・ワークシート	・実技テスト ・ワークシート	・観察 ・実技テスト ・ワークシート
	合唱を楽しむ	**合唱** 二部合唱 「ハナミズキ」「糸」他	a:メロディやリズムを理解し、音の強弱、リズム、休符を正しく理解して演奏できているか。 b:メロディ、リズムの特徴を理解し、音の強弱や音質、強弱、休符（音のない部分）を感じ取って演奏できる。他の声部の動きや関りを感じながら演奏できる。 c:リズム、音の強弱、音のない部分にも興味を持ち、積極的に参加	・観察 ・実技テスト ・振り返りシート	・観察 ・実技テスト ・振り返りシート	・観察 ・実技テスト ・振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

			している。			
	ピアノの基礎を学ぶ	**器楽** 〈ピアノ独奏の基礎〉	a: 各声部の役割や全体の響きについて考えながら、音色、フレーズ、強弱などをどのように工夫するかについて楽譜や鑑賞を通して理解し、表現意図をもっている。また、その技能も身に着けている。 b: 曲想を楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをより膨らませて創造的に表現している。 c: 楽器の奏法や表現上の効果に関心をもち、意欲的にソロに取り組もうとしている。	・実技テスト ・振り返りシート	・実技テスト ・振り返りシート	・観察 ・ワークシート
	自分なりの表現をしよう	**歌唱** 「見上げてごらん夜の星を」「Caro mio ben」	a:歌詞の意味やイントネーション、メロディと感情の関係を理解した上で、様々な演奏を鑑賞して、その特徴を知るとともに、自分なりのメロディを考えることができる。 b:歌詞の意味やイントネーション、メロディと感情の関係を理解し、自分なりの演奏が表現できる。 c:歌詞と原語のイントネーション、メロディとの関係に関心を持ち、積極的にメロディ作りに関わるととともに、他者の表現に興味を持つことができる。	・実技テスト ・振り返りシート	・実技テスト ・振り返りシート	・実技テスト ・観察 ・振り返りシート
2学期	アートスタジアムに向けて	**合唱** 「時の旅人」「to be with you」混声三部合唱曲	a:メロディやリズムを理解し、音の強弱、リズム、休符を正しく理解して演奏できているか。 b:メロディ、リズムの特徴を理解し、音の強弱や音質、強弱、休符（音のない部分）を感じ取って演奏できる。他の声部の動きや関りを感じながら演奏できる。 c:リズム、音の強弱、音のない部分にも興味を持ち、積極的に参加している。	・実技テスト ・観察 ・振り返りシート	・実技テスト ・観察 ・振り返りシート	・実技テスト ・観察 ・振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	ピアノ独奏曲を楽しむ	**器楽** 〈ピアノ独奏〉 ※候補曲から選択して独奏(両手)する。	a: 各声部の役割や全体の響きについて考えながら、音色、フレーズ、強弱などをどのように工夫するかについて楽譜や鑑賞を通して理解し、表現意図をもっている。また、その技能も身に着けている。 b: 曲想を楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをより膨らませて創造的に表現している。 c: 楽器の奏法や表現上の効果に関心をもち、意欲的にソロに取り組もうとしている。	・実技テスト ・観察 ・振り返りシート	・実技テスト ・観察 ・振り返りシート	・実技テスト ・観察 ・振り返りシート
	歌詞の思いを表現する	**歌唱** 「ホール・ニュー・ワールド」 「TOMORROW」 ミュージカル及びミュージカル映画より数曲選び、歌う	a: より自然なのびのある声で歌うことができ、歌曲にふさわしい日本語の発音を鑑賞や模範演奏を通して意識的に取り組んでいる。 b:課題曲の特性やその味わい、音楽の諸要素とどう結びついているかをよく理解して表現できている。 c: より自然でのびのある発声法に関心もち、興味をもって取り組んでいる。	・実技テスト ・振り返りシート	・実技テスト ・振り返りシート	・実技テスト ・観察 ・振り返りシート
3学期	合唱を楽しむ2	**合唱** Jpop の合唱曲と合唱専門の曲を歌う	a:メロディやリズムを理解し、音の強弱、リズム、休符を正しく理解して演奏できているか。 b:メロディ、リズムの特徴を理解し、音の強弱や音質、強弱、休符（音のない部分）を感じ取って演奏できる。他の声部の動きや関りを感じながら演奏できる。 c:リズム、音の強弱、音のない部分にも興味を持ち、積極的に参加している。	・観察 ・振り返りシート	・観察 ・振り返りシート	・観察 ・振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	アンサンブルを楽しむ	**楽器のアンサンブルを楽しむ** ピアノ連弾かギター合奏を選択し、グループで曲をかんせいさせる	a:メロディやリズムを理解し、音の強弱、リズム、休符を正しく理解して演奏できているか。メンバーと同じ拍子感、テンポ感で演奏できているか。 b:メロディ、リズムの特徴を理解し、音の強弱や音質、強弱、（音のない部分）を感じ取って演奏できる。他の声部の動きや関りを感じながら演奏できる。 c:リズム、音の強弱、音のない部分にも興味を持ち、積極的に参加している。メンバーと話し合いながら積極的に音楽に取り組んでいる。	・実技テスト ・ワークシート	・実技テスト ・ワークシート	・実技テスト ・観察 ・練習記録

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度